

## 危機管理士1級 勉強会レポート

2023年4月1日（土）

危機管理士1級取得者5名の方に、Zoomを使用したオンラインによる研究発表をしていただきました。

### ■ガス保安と自然災害

堀 琢磨様（経済産業省）

都市ガスの災害復旧について、2016年熊本地震における復旧事例を紹介されました。地震により10万戸以上が供給停止になり、ガスの停止、被害調査と計画作りを行なったことなどを、わかりやすく説明いただき、災害からみんなの暮らしを守る都市ガス保安業務の重要性に対する理解を促しました。その後、LPガスについて、その特性を説明し、近年の洪水被害事例から鎖・ベルトからの容器の抜け防止や容器流出防止などの対策を示され、最後にキャンピングカー等におけるLPガスの利用に関するルール見直しの説明もされました。

### ■道路防災（道路ネットワーク機能を考慮した維持管理手法とその試行）

岩上 憲一様（株式会社オリエンタルコンサルタンツ）

国土交通省において、令和3年度から道路の防災減災に関して「道路リスクアセスメント」の検討が始まったことなどを踏まえて、ある自治体において発生した地震により、橋梁、土工構造物が被害を受けたことを前提にして、防災拠点から被災地までの3つのルートを対象にした道路リスクアセスメント評価の試行結果をご発表いただきました。評価は、橋梁と土工の評価結果を統合してルート毎に道路として評価され、道路機能としての評価と対策費用を踏まえた評価を行い、予算に応じた対策の順番を決定する方法を示されました。

### ■持続可能なBCPを実現するスマートBCPの展開

木村康弘様（ナブテスコ株式会社）

同社が2015年に実施した主要17拠点を対象とした重大リスク調査の結果をご発表いただきました。また、中小企業を含めてBCPの策定が進まない理由はリソース不足などとし、実効性のあるBCPの持続化が課題とした上で、解決策としてシンプル、スリム、コンパクトの3要素を含んだスマートBCPの実践を提案されました。さらに、同社では、従来の計画策定のBCPを、事業継続力を重視するBCPに読み換え、組織強靱化（レジリエンス）活動が重要とし、『レジリエンス認証』制度を活用されていることなどを説明されました。

## ■企業、自治体、自治会等への防災活動について

### 吉江直樹様（活性化プロジェクト）

「東大和市を誰でも安心が出来る、住みやすい街にする」ために、あるべき姿に対して、現状では、助け合いが出来るのは「自助」と地域の助け合いしかないとし、災害時には「地域防災計画」に対する認知度の低さなどが問題とされました。課題としては、「地域コミュニティ」の構築や「地区防災計画」への理解と実践などを挙げ、対策として「地域コミュニティ」の再活性化、勉強会の開催、「地区防災計画」の作成などを挙げられました。さらに、対策の結果として数値に基づく効果確認の必要性を示し、PDCAを今後の課題としました。

## ■熊本市の物資供給事例

### 大塚和典様（熊本市）

熊本地震の検証を踏まえ、新たな物資供給計画を行った結果を発表され、最初の1週間は、未経験業務への戸惑いや情報不足から失敗が多く、BCPを作成していたものの機能しなかったこと。震災対応では、職員が物資の集中により疲労してしまい、必要な現場に物資が届かない理由を検証・改善、物資供給及び備蓄の考え方を整理して、物資供給計画を改定したこと。改定では、震災発生から3日目ごろ（物資集積センター稼働までの間）と4日目ごろ（物資集積センター稼働後）から分けて、情報や物資の流れをご発表いただきました。

\*\*\*\*\*

コロナの感染収束に至らず、今年もZoomでの開催となりました。

この2年でZoomが身近なものとなり、多くの1級会員の方にご参加いただきました。

皆様のご協力、誠にありがとうございました。